



# 子どもたちの笑顔と未来のために ～大和証券グループの取組み～

2022年3月11日（金）

株式会社大和証券グループ本社  
経営企画部SDGs推進室 村瀬 理紗

Daiwa Securities Group Inc.

## 目次

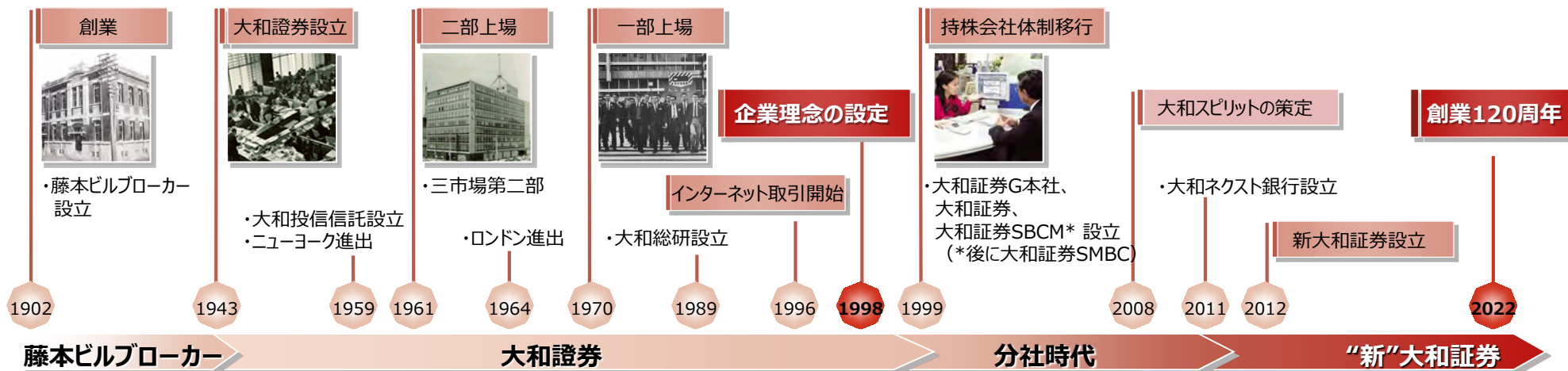
- I - 大和証券グループが培ってきたもの
- II - なぜ大和証券グループが子どもの未来を応援するのか
- III - 「大和証券グループ 夢に向かって！ こどもスマイルプロジェクト」
- IV - 経営戦略としてのSDGs
- V - 結びに～今、アクションを起こそう～

# I - 大和証券グループが培ってきたもの

---

Daiwa Securities Group Inc.

# 【 I .大和証券グループが培ってきたもの】 大和証券グループの企業理念



## 大和証券グループの企業理念

### 信頼の構築

お客様からの信頼こそが、大和証券グループの基盤である。お客様を第一に考える誠実さと高い専門能力により、最も魅力ある証券グループとなる

### 社会への貢献

金融・資本市場を通じて社会及び経済の発展に資することは、大和証券グループの使命である。法令遵守と自己規律を徹底し、高い倫理観を持って社会の持続的発展に貢献する

### 人材の重視

大和証券グループの競争力の源泉は人材である。社員一人ひとりの創造性を重視し、チャレンジ精神溢れる自由闊達な社風を育み、社員の能力、貢献を正しく評価する

### 健全な利益の確保

健全なビジネス展開を通じて企業価値を高めることは、株主に対する責務である。大和証券グループはお客様に価値あるサービスを提供して適正な利益を獲得し、株主に報いる

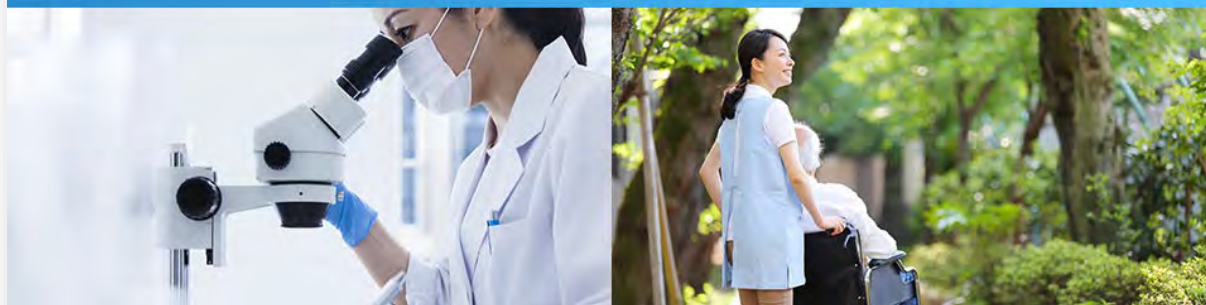
大和証券グループ

# 【 I .大和証券グループが培ってきたもの】 財団を通じた取組み



- 大和証券ヘルス財団（1972年設立）・・・健康および医療分野への助成活動
- 大和証券福祉財団（1994年設立）・・・ボランティア活動の普及と発展を目的とした助成活動

## 公益財団法人 大和証券ヘルス財団



## 公益財団法人 大和証券福祉財団



大和証券が、設立30周年記念事業の一環として、収益の一部を社会還元する目的で、1972年10月5日に設立。2011年4月1日より「公益財団法人」認定

## 設立目的

生活習慣病をはじめとした中高年・高齢者の病気の予防と治療に関する研究の助成事業を通じて、国民が生涯を通じて健やかで充実した生活を過ごせる豊かな長寿社会を築くことを目的としている

### 助成対象

- (1) 中高年・高齢者特有の疾病に関する医学並びに医療に関する調査研究
- (2) 高齢者の寝たきり予防、並びにリハビリテーション、在宅医療、介護に関する調査研究

### 助成金

- 上記の (1) 1 研究あたり一律100万円
- 上記の (2) 1 研究あたり一律70万円



助成を行った調査研究の成果を「研究業績集」として刊行し、関係機関へ贈呈することで普及・啓発を図っている

2020年度までの助成実績  
(累計)

贈呈者数

1,341名

助成総額

13億1,910万円

大和証券の設立50周年記念事業の一環として、収益の一部を社会還元する目的で1994年3月15日に設立。2011年4月1日より「公益財団法人」認定

## 設立目的

福祉、医療分野におけるボランティア団体の活動支援やボランティア精神の普及啓発活動等を行い、誰もがいつでもボランティア活動に参加できるよう環境整備を図ることにより、福祉の向上に資することを目的とする

### 助成対象

- (1) 高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高い支援活動、さらには地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動
- (2) 子どもたちに夢と笑顔を、そして輝く未来につなぐ支援活動

### 助成金

上記の(1) 上限30万円 (1団体につき)

上記の(2) 上限50万円 (1団体につき、最大3年間助成)



2020年度までの助成実績  
(累計)

ボランティア活動助成

助成件数：3,878件  
助成総額：9億779万円

子ども支援活動助成  
(2018年度～)

助成件数：17件  
助成総額：818万円

## Ⅱ-なぜ大和証券グループが子どもの未来を応援するのか

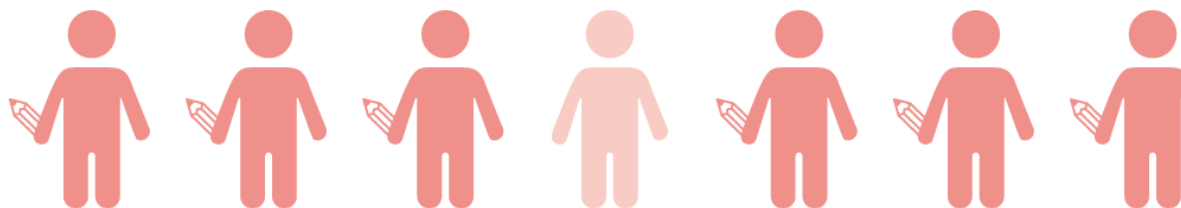
---

Daiwa Securities Group Inc.





## 日本の子どもの7人に1人が相対的貧困



子どもの貧困率  
2018年

**13.5%**

出典：厚生労働省  
国民生活基礎調査

生涯所得の減少額  
一人あたり1,600万円



15歳以下の子ども  
約270万人

所得の損失  
42兆9,000億円

財政収入の減少  
15兆9,000億円

# 将来の日本における、経済損失につながる喫緊の課題

## Ⅲ - 「大和証券グループ 夢に向かって！こどもスマイルプロジェクト」

---

Daiwa Securities Group Inc.

2017年、

# 「大和証券グループ 夢に向かって！こどもスマイルプロジェクト」 スタート！



プロジェクトのシンボルマーク  
(当社社員デザインによるもの)

公益財団法人パブリックリソース財団と協働し、子どもの貧困問題に取り組むNPO法人等を支援  
経済的に困難な状況下にある子どもの環境改善や貧困の連鎖の防止を目指す独自性や先駆性のある事業や  
プログラムの事業開発を支援

## 助成対象

- 助成金は「事業開発活動」を対象
- 類例が多いと判断される事業は対象外
- 15歳までの子ども（特に小学生）を対象とする  
取組みの事業開発を重視

## 助成内容

- 1団体につき、上限300万円程度
- 最大3年間の継続助成  
（自動的な継続ではなく、毎年継続審査を実施）
- 助成団体数：毎年2～3団体
- 助成金の使途は事業開発活動に資するものに限定

## 2020年1月 第3回贈呈書授与式および活動報告会



（支援先代表者7名との記念撮影）



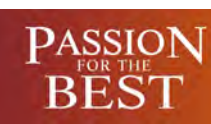
## 選考基準および支援先団体/事業内容一覧

### 選考基準

- 子どもの将来の貧困リスクの低減に向けた取組みのロジックモデルは明確か
- 同取組みは、先駆性があるか
- 同取組みを効果的・持続的にするための事業開発計画は、目標設定が明確か
- 同事業開発計画は適切に計画されているか
- 組織全体は適切に経営されているか

支援期間	団体名	事業内容
2018年1月～ 2020年12月	認定NPO法人 SOS子どもの村JAPAN	里親家庭の普及活動、困難な事情を抱える家庭支援
	認定NPO法人 PIECES (ピースーズ)	孤立した子どもに対する、地域のアウトリーチ人材 育成プログラムの開発
	NPO法人 Learning for All	学習支援のナレッジ展開
2019年1月～ 2021年12月	認定NPO法人 エデュケーションエキューブ	複合型学習拠点「スタディプレイス」の展開
	認定NPO法人 D×P (ディーピー)	学校内での「居場所カフェ」運営
2020年1月～	NPO法人 パノラマ	校内居場所カフェ運営者・実施者人材の育成
	NPO法人 フェアスタートサポート	児童養護施設を対象とした地域密着型就労支援

# 【Ⅲ - 「大和証券グループ 夢に向かって！こどもスマイルプロジェクト」】 「大和証券グループ未来応援bond」発行



2020年6月、当社が、個人向け社債である「大和証券グループ未来応援bond」を発行  
発行額の一部を、経済的に困難な状況にある子ども達を支えるために寄付するという形式を採用

## 大和証券グループ未来応援bondを発行



- 6月、当社自身が円建ての個人向け普通社債を発行
- 本債券では、発行総額750億円の0.15%にあたる、1億1,250万円をコロナ禍による影響を受けた子どもたちへの支援を行う団体への緊急支援、および、経済的に困難な状況下の子どもたちを支える団体の基盤づくりへの中長期的な支援を目的に充当予定

1,000万円

公益財団法人パブリックリソース財団  
子ども支援団体等緊急支援基金



**緊急支援**

休校中の子どものケア  
ひとり親家庭の子ども支援



1億250万円

大和証券グループ×公益財団法人パブリックリソース財団  
大和証券グループ未来応援bond  
子ども支援団体サステナブル基金



**中長期支援**

事業のオンライン化  
組織の基盤づくり



「大和証券グループ未来応援ボンド」のうち1億250万円を拠出し、パブリックリソース財団との協働による「こども支援団体サステナブル基金」へ寄付。非常時においても、子どもの貧困問題に取り組むNPO法人が必要な支援を継続的に届けられるよう、事業継続性や組織としてのレジリエンス向上を支援。  
 1団体につき上限350万円、単年度助成

### こども支援団体サステナブル基金 イメージ

支える人を支える

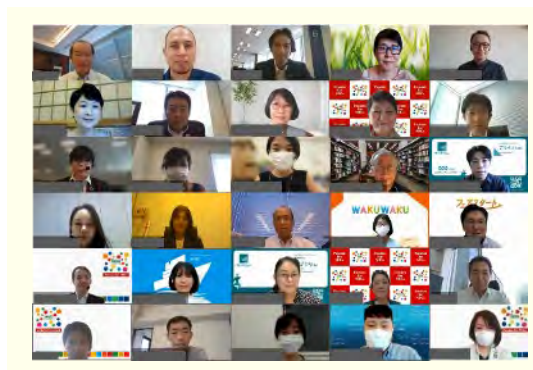
子ども

子どもを支えるNPO

“支える人を支える”  
サステナブル基金

日本中の子どもたちが  
楽しく過ごせるために  
日々の生活を支える  
NPOの活動をサポート

2021年8月  
中間報告会



### 助成対象プロジェクト（第一回採択団体）

事業のオンライン化



BCPの策定



オンラインファンドレイジング





## 選考基準および支援先団体/事業内容一覧

### 選考基準

- 団体の信頼性（適切な組織運営がなされているか/適切な情報公開が行われているか等）
- 申請団体の既存事業の課題認識とロジックモデルが明確か
- 申請事業の実施内容と目標は本助成の目的に合致しているか
- 申請事業の計画は妥当か、実現可能か
- 申請事業がモデルとなり他団体への波及効果が期待できるか

第二回採択団体	事業内容
NPO法人 eboard	個人向け寄付サイトの制作と 広告運用によるファンドレイジング強化
NPO法人 ウィーズ	全国の家環境に悩む子どもたちに寄り添い続けるための 事業ノウハウ共有と支援者ネットワークの構築
認定NPO法人 ACE	子ども支援者の能力向上ワークショップ・プログラム開発
認定NPO法人 SOS子どもの村JAPAN	事業拡大局面に伴うWEBサイトの全面改訂 および効果検証の仕組みを導入したファンドレイジング強化
認定NPO法人 CPAO	オンラインを活用した、生活困窮を抱える親子に対する アウトリーチ強化と支援者へのファンドレイジング強化
NPO法人 Chance For ALL	奨学制度の原資となる個人寄付のオンライン募集強化
認定NPO法人 山口せわやきネットワーク	こども食堂等の寄付や物資等受取サポートシステム構築

2021度（第二回）助成総額：2,450万円



## IV- 経営戦略としてのSDGs

---

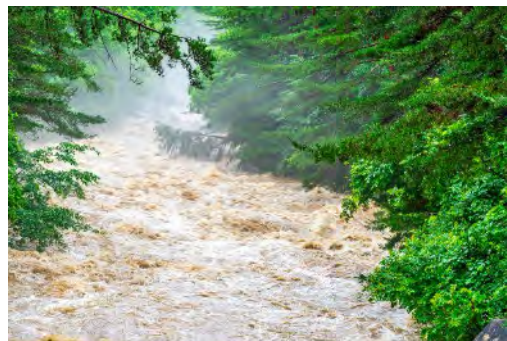
Daiwa Securities Group Inc.

顕在化する気候変動問題や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、世界規模でサステナビリティを求める動きが加速

## 格差問題・子どもの貧困



## 気候変動・自然災害



## コロナ禍・医療体制のひっ迫



## DX・AI



## 人生100年時代・高齢化社会



## ダイバーシティ&インクルージョン



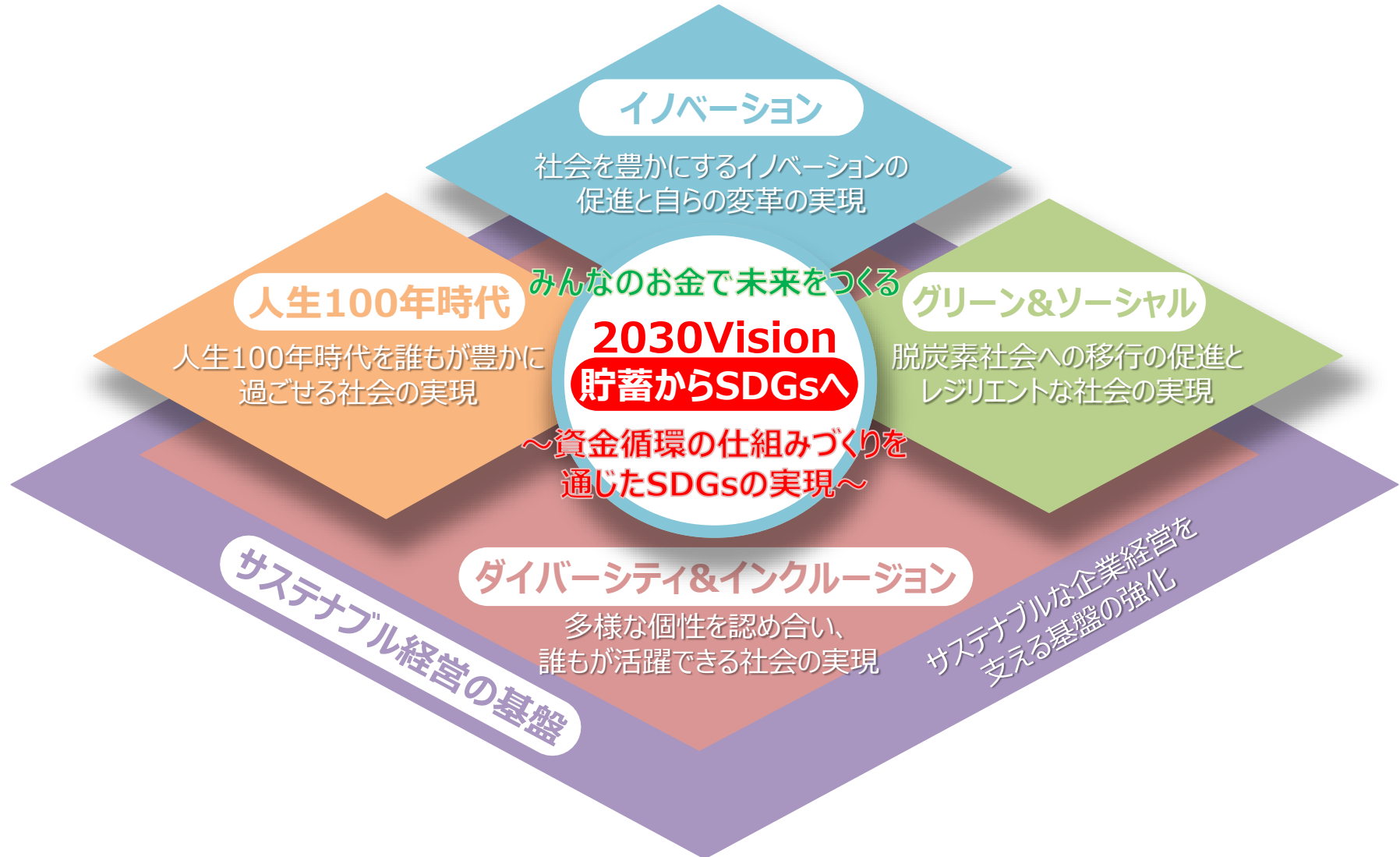


貯蓄から SDGsへ

# 【IV- 経営戦略としてのSDGs】 経営ビジョン「2030Vision」



PASSION  
FOR THE  
BEST





CSRに関する取組み

社会的責任投資 (SRI) / インパクト・インベストメントの普及促進 等

SDGsへの取組み

本邦初の国内個人投資家向け  
インパクト・インベストメント債券  
(ワクチン債) 取扱開始

SDGs推進委員会設置  
大和証券G SDGs宣言 発表

経営ビジョン  
2030 Vision 公表

大和証券ヘルス財団  
設立

大和証券福祉財団  
設立

「こどもスマイルプロジェクト」  
スタート

1972

1994

2008

2017

2018

2021~

米国発CSR的思考の発祥

日本におけるCSR黎明期

SDGsの普及

# V - 結びに～今、アクションを起こそう～

---

Daiwa Securities Group Inc.

# 貯蓄からSDGsへ

*Passion for SDGs*



あなたが放った一筋の光が  
いつか世界のだれかにとどく  
人 自然 エネルギー  
資金循環で世界が変わる

SDGsの達成目標である2030年までの道のりを、  
より確実なものとするため、  
皆さまとともに歩んでまいります。

大和証券グループ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大和証券グループは持続可能な  
開発目標 (SDGs) を支援しています。

PASSION  
FOR THE  
BEST